

TDX 事例紹介

ペーパーレス推進PJ編

2024年9月4日

株式会社 トクヤマ

DX推進グループ° 主幹 水田泰裕

目次

株式会社トクヤマ概要

当社DX推進の経緯

ペーパーレス推進の実施

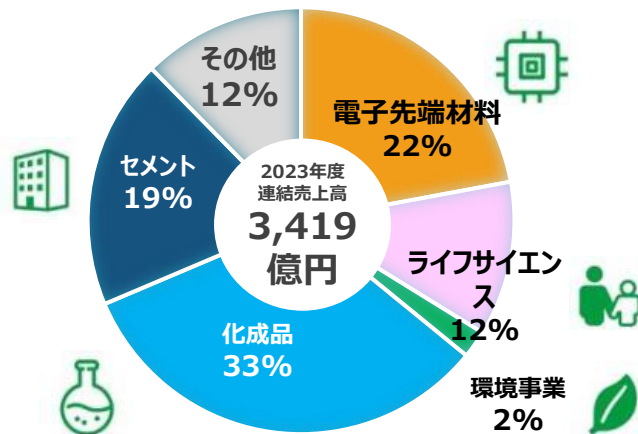
PJ事例紹介



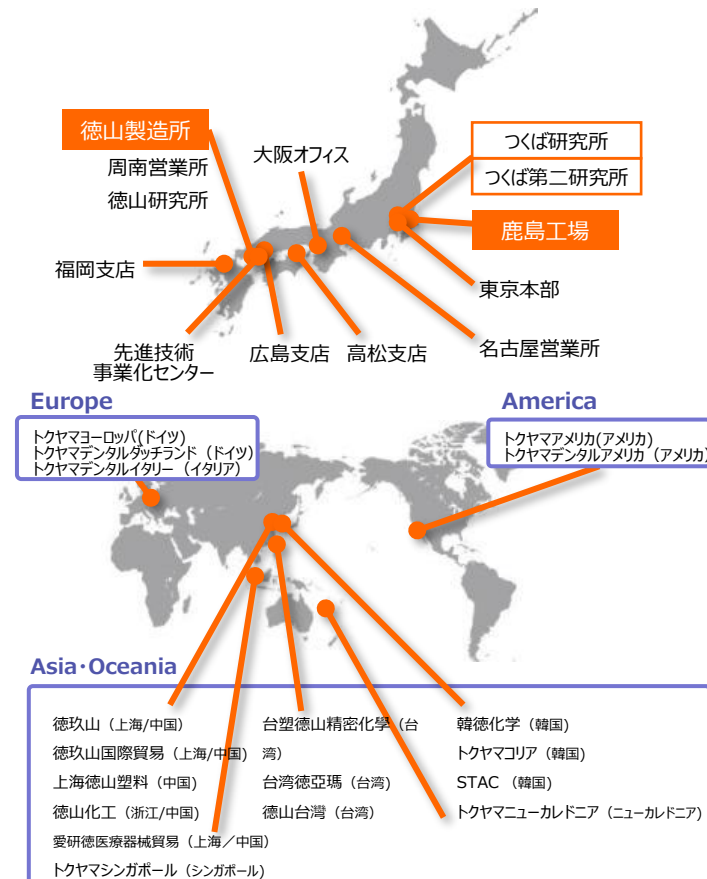
基礎情報

創立	1918年（大正7年）
資本金	100億円
売上高	3,419億円 2023年度連結
従業員数	5,734名（連結） 24年3月末現在
グループ会社数	63社 24年3月末現在
他	東証プライム上場、総合化学メーカー

事業ポートフォリオ



拠点



■ 中期経営計画2025では、事業ポートフォリオの転換を大きな柱にしている

中期経営計画2025

1

事業ポートフォリオ の転換

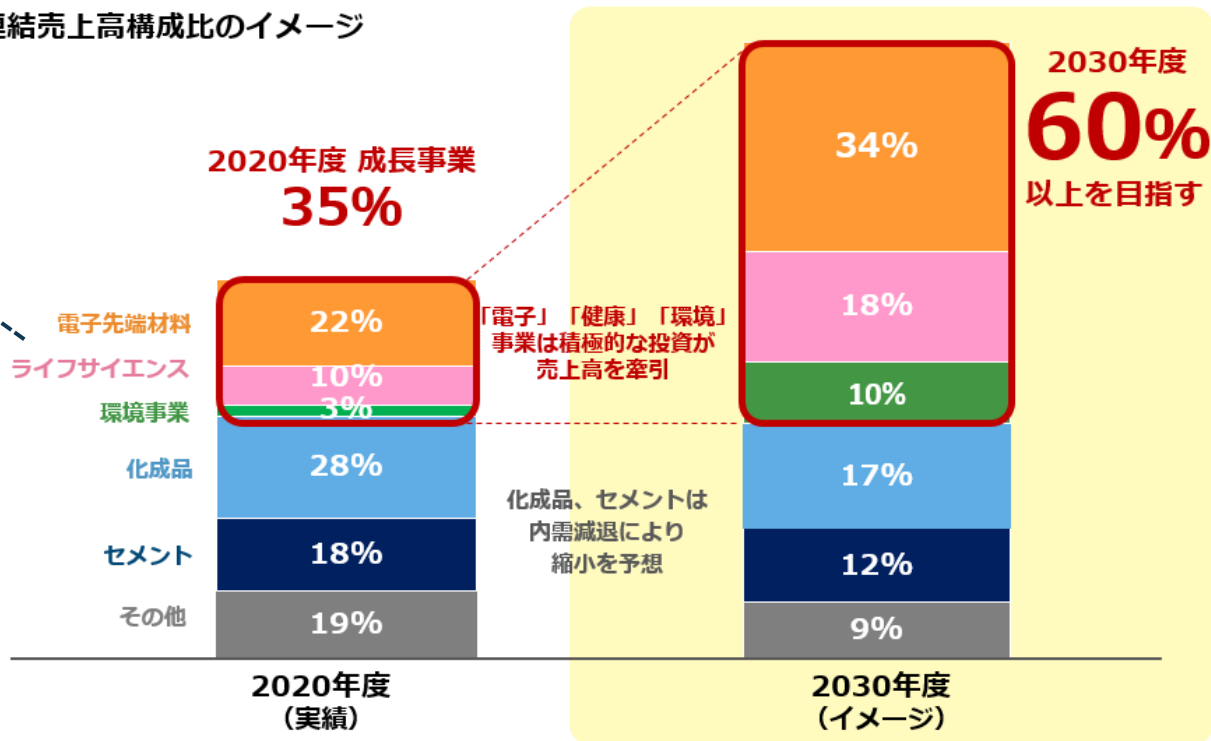
2

地球温暖化防止
への貢献

3

CSR経営の推進

連結売上高構成比のイメージ



本格始動から2年

	時期	内容
準備期	2020年11月	DX推進準備組織立ち上げ、 全社ヒアリング を開始。
	2021年2月	中期経営計画にDX推進の基本方針を掲載。
	2021年12月	取締役会でTokuyamaDX(以下TDX)方針を決議。 設定した25のサブPJを順次立ち上げ。
立上期	2022年1月	DX認定取得(山口県本店所在地企業で初取得)
	2022年6月	ペーパーレス 全社調査実施
推進期	2023年4月	デジタル統括本部創設、DX推進グループとITソリューショングループを集約
	2024年1月	DX認定更新、製造所運営シミュレーションモデル「T-FORCE」を構築
	2024年4月	社内DX教育受講者1,400名超、 ペーパーレス2,100FM超実施
	2024年5月	データ分析ツール「Tokuyama AutoML」を開発

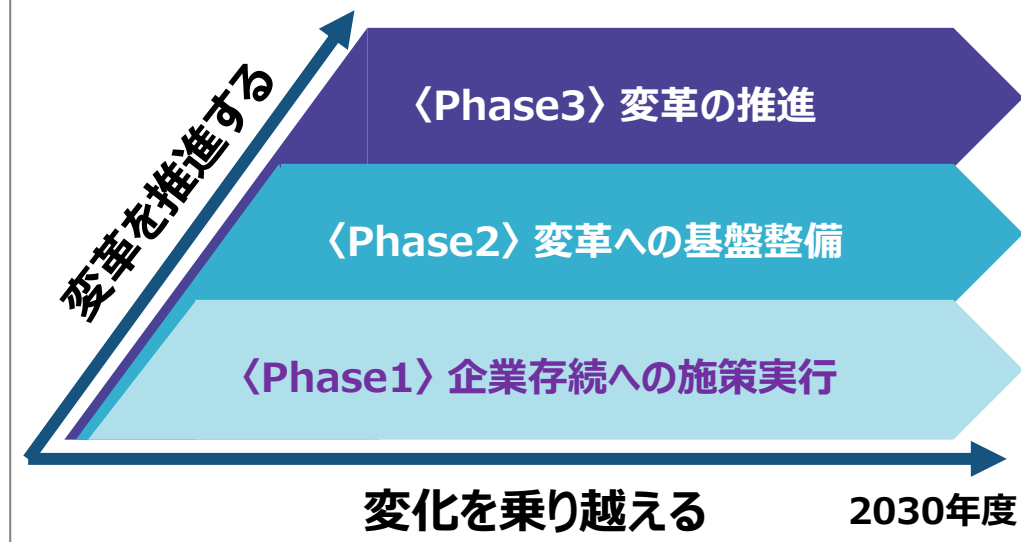
- 社内全体を巻き込んでいくために幅広くヒアリングを実施。意識と課題を吸上げ、トクヤマにとって最適な方針を「TDX基本方針」として策定した

社内ヒアリング結果

マンパワー不足 業務のやり方が非効率 情報閲覧権限の制約大
設備老朽化 サプライチェーン管理ができていない 部門の壁
大量の紙とハンコ作業 横の連携がない
属人化 生産計画が最適化されていない
IT知識不足 個別最適な取組みが多い
変化を望まない文化 どこにデータがあるかわからない

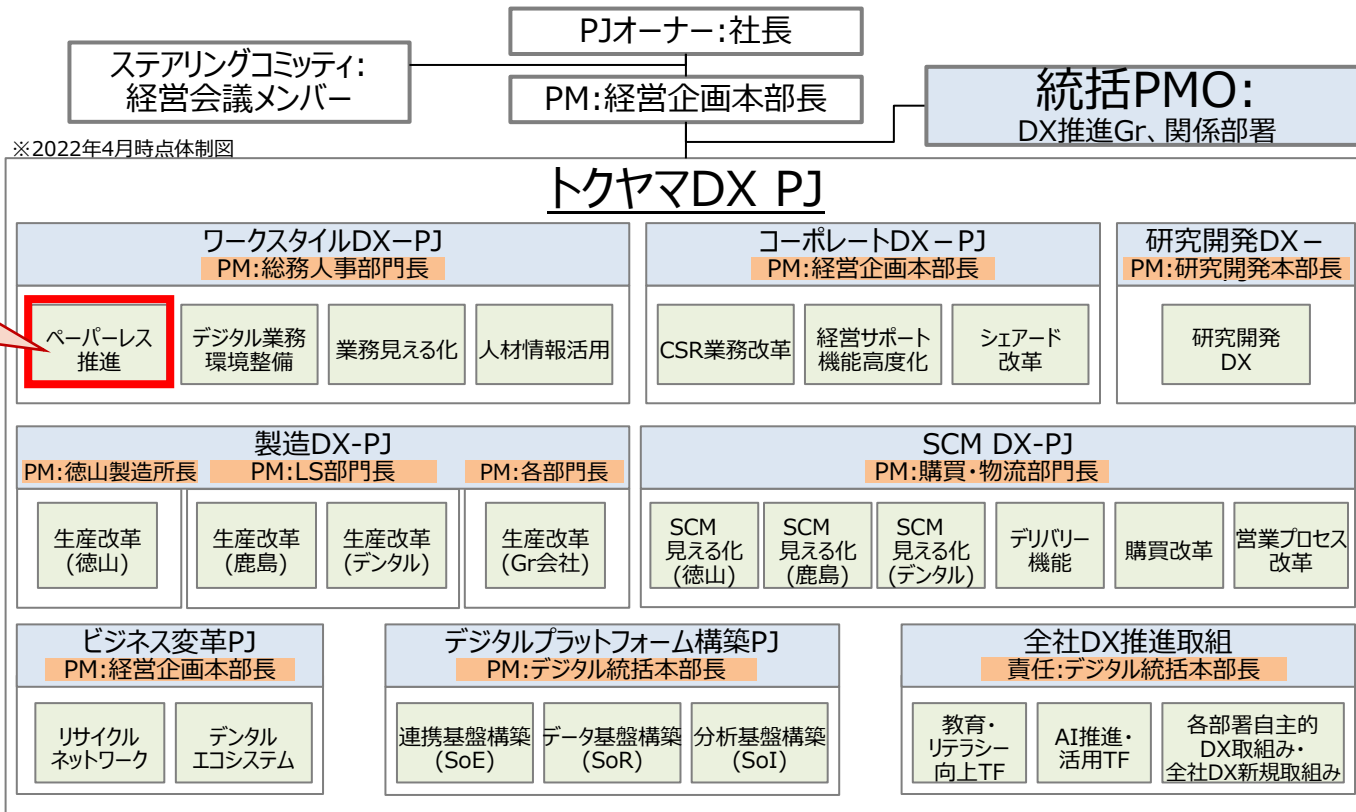
- ✓ 現場担当から経営層まで様々ヒアリング
- ✓ 70部署以上、200名以上と対話

トクヤマDX (TDX) 基本方針



- ✓ 変革(Phase3)を目指しつつも基本取組(Phase1,2)も重要
- ✓ Phase1～3は同時スタート

- 重要テーマから、8 カテゴリー/25施策（サブプロジェクト）を選定
- 「社長をヘッド」とする全社プロジェクトとして、ガバナンスを効かせて運営
- 中央から主導する「トップダウン」、現場から底上げする「ボトムアップ」の両方向を織り交ぜ推進



まずは現状把握から

なぜDX推進でペーパーレスなのか？

- ・ 紙とハンコが多い事実。
- ・ 分かりやすい取り組みで気運醸成。
- ・ やればすぐ出来る。
- ・ データとデジタルの利活用のため
また、より高度な施策実行のために
デジタイゼーションが不可欠。

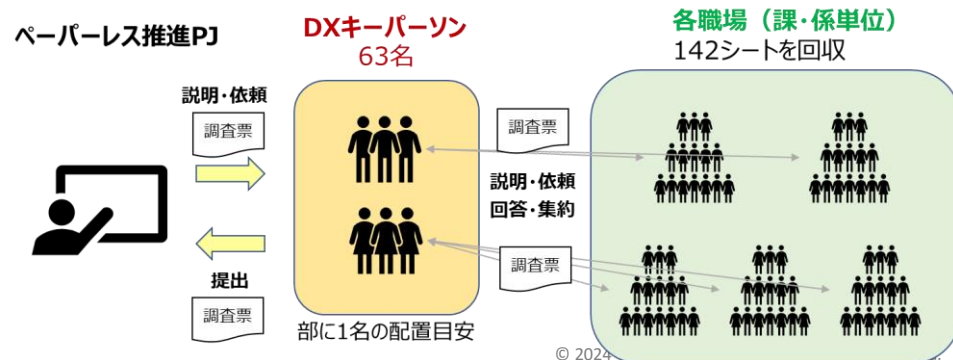
TDXの最優先PJとして早期実施。

調査は「DXキーパーソン」を活用。

- ・ 限られた時間、リソースで全社調査を行うには、PJメンバーだけでは不可能。
- ・ 「DXキーパーソン」に2次展開を依頼。



調査を通じて取り組みが自分事化



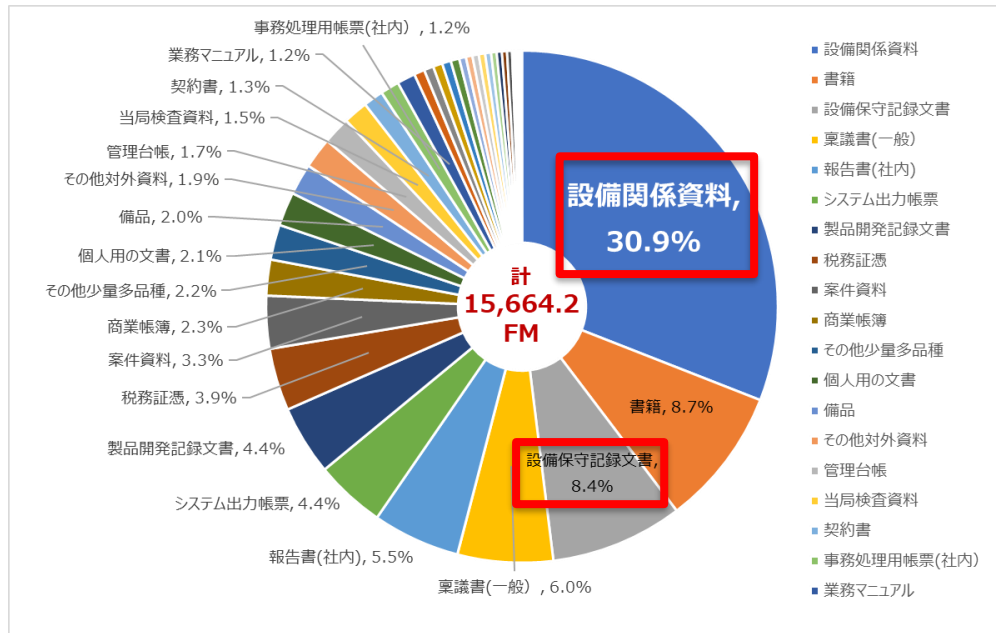
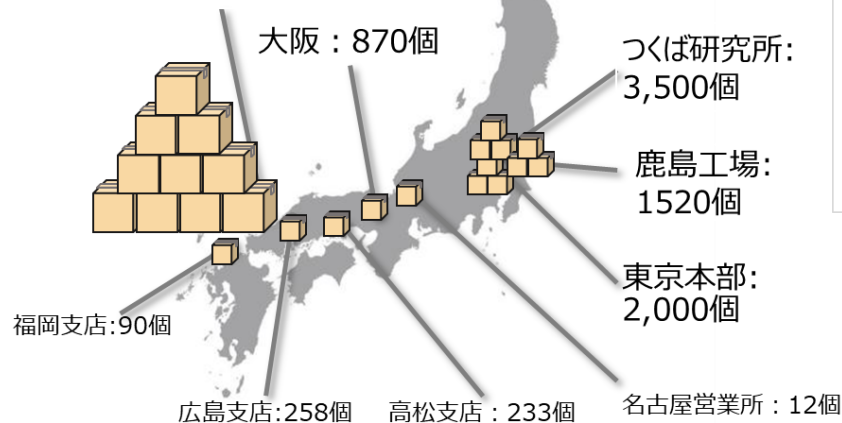
全拠点、全部署の紙文書量を調査

ストックとフローの全体を「見える化」

文書ストック量：段ボール48,000個

※製造業平均の**1.6倍** (推定)

徳山製造所：40,000個



設備関係の資料が4割を占める(赤枠部)。
社内の稟議書類も多く、紙の回覧押印を
改めて欲しいというニーズも高かった。

全社調査を基に取り組みテーマを設定、業務側へアサインを依頼しスタート。

TDX ペーパーレス推進プロジェクト

プロジェクトリーダー：総務グループ 課長

PMO：DX推進グループ 水田

コアメンバー：総務グループ1名、DX推進3名

他メンバー：各テーマ業務部署より多数

ペーパーストックレス

不要文書廃棄・電子化

各部署取り組み。四半期毎に計画、実績収集中。

ルール改正

『情報管理基準』等の見直し、風土改革。

稟議決裁の電子化

付議の電子化

各種会議の付議、通知を24年5月から電子化。

電子署名

取締役会議事録電子化に伴う電子署名導入検討。

電子契約

2024年5月から、一部実施中。

設備領域の電子化

工事関係申請の電子化

徳山製造所の各種申請の電子化(対外部含む)。

データマネジメント強化

具体的な設備業務の電子化、基礎固め。

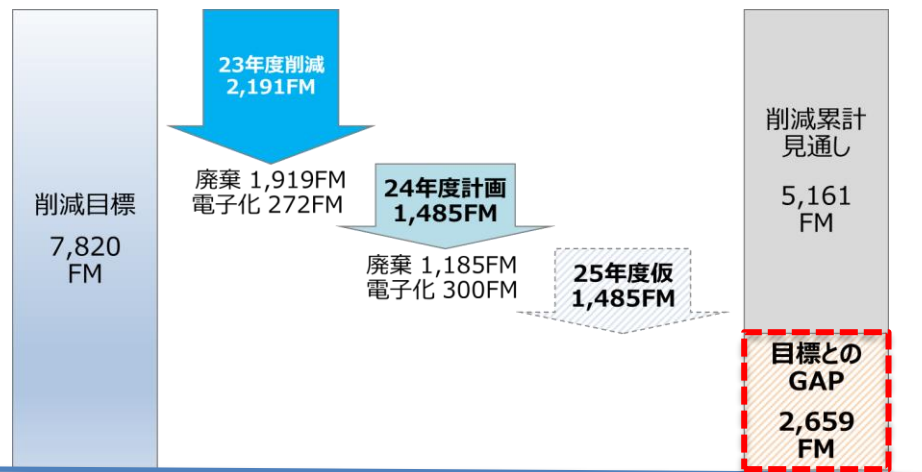
2023年下期～

間接業務ペーパーレス

間接業務ペーパーレス

規程申請フローの電子化、環境安全領域の業革。

- 不要文書廃棄、電子化の促進
調査時の文書量50%削減が目標
23年度末の実績は14.5%
電子化の遅れが顕著、今後支援

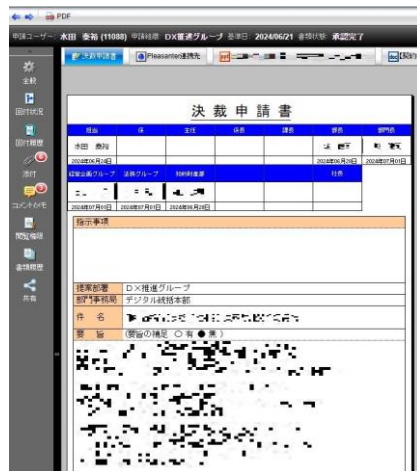


「仕分け」の支援、社内電子化拠点の機能強化
好事例の横展開 など

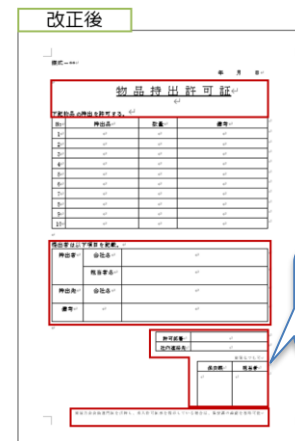
- 文書管理のルール改訂
ペーパーレスを前提にルールを改正
タコ足化した規程類を統合
保存年限の検索性を向上



稟議書類の電子化を実現 ハンコ回覧卒業の代表事例



■徳山製造所内申請の見直し
各種申請を簡素化、電子化
先行事例を皮切りに取り組みを拡大中



不要押印廃止
刀一簡素化

または



メール送付など簡単な
電子化で効率化

設備領域の業務デジタル化（データマネジメント強化）

デジタル化を前提に、業務ルール/運用の標準化、環境整備を実施。

標準化：フォルダ構成、ファイル命名、保存場所、正本の定義、電子ファイルでの回覧や確認方法

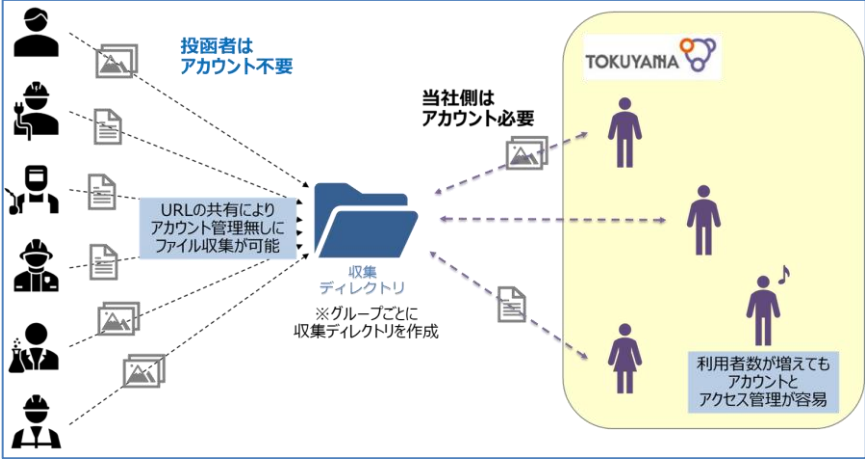
環境整備：大容量ファイル送受方法の整備、専用Sharepointの整備、PDF編集ツールの導入

例：フォルダ構成の標準化

■フォルダ階層（最終案）

階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層5の内訳
トクヤマ /エリア業者	部署	職種	保全エリア	業務	(階層5に含む主な内容)
トクヤマ エリア業者	動力 機材・NF 化一・SD 化二 SI	共通	共通	保安管理・環境関係 法令・法規 ISO 方針・目標 組織・体制 人事・労務 予算管理・予算計画 固定資産 週報・進捗管理 設備管理報告 各種プロジェクト 社外報告 各種定期会議 文書管理 エリア保全	安全環境審査、変更管理(変更確認書) 高圧ガス、電気関係法令(主任技術者含む) 品質、環境ISO 各種組織図、体制図、業務分担 勤怠管理 3か年計画、予算申請 TDX、エンジニア各種PJなど 社内、社外 保全検討会議、設備合同会議

例：社外との大容量ファイル送受方法



PJ全体概要

未実施

実施済み

実施中

調査
・計画

方針
策定

要件
定義

施策
実行

運用
定着

FY24_04-07月
フェーズ実施

取組テーマ	施策分類	施策	進捗	取組テーマ	施策分類	施策	進捗
(1)ペーパーレスへの変革	ペーパーレス基盤整備・風土改革	文書量調査、現状把握、スコープ策定	完	(4)設備関係申請・帳票の高度化	メールを活用した電子化	国際埠頭立入許可申請書の電子化	完
		ストックレス(文書削減・電子化活動)				構内車両通行許可申請書の電子化	完
		デジタル化文書の保管場所(ストレージ)整備				警報装置設置済証交付申請書の電子化	完
	全社ルール改正/制定	情報管理基準の改正	完		申請の簡素化	物品持込(持出)許可願の簡素化	完
		文書保存要領の制定	完			時間外入出門届の簡素化	完
(2)決裁電子化・電子署名の基盤整備	決裁電子化	稟議・決裁の電子化	完			夜間駐車申請書の簡素化	完
		決裁規則の改正	完		ルール改正	請負業者規則の改正	完
		電子契約の導入	完			徳山製造所構内管理要領の改正	完
	電子契約・電子署名	電子署名の導入	完			架構等接触防止要領の改正	完
					横展開	他拠点への横展開	
(3)間接業務ペーパーレス化	規程プロセス見直し	規程プロセスの電子化		(5)データマネジメント強化	Step1 (設備管理Gr)	電子レビュー確立(仕様書・図面・文書)	完
		規程関連規程・ルール類見直し				オンラインストレージ/PDFツールの導入・展開	完
	各所管間接業務 見直し	人事関連領域(申請・社宅・年末調整等)の電子化	保留		Step2 (設備管理Gr)	他部署(製造・技術)への電子レビュー展開	
		環境安全領域(集計・分析・報告・監査業務等)の電子化				共同編集による同時レビュー展開	
		その他領域の電子化(第3Gr)				フォルダ体系、ファイルリネームルールの整備	完
(4)設備関係申請・帳票の高度化	システム化による申請の電子化 *予定含む	入構許可願兼異動届・入構者安全教育免除申請書の電子化	保留			データカタログ、データライフサイクルの作成	完
		自動車乗入申請書の電子化	保留			ルール遵守のためのプロセス検討	完
		通動自動車登録届の電子化	保留			Step2実装にあたっての規程・ルール類見直し	完
		火気使用許可願の電子化	完			業務に適したデバイス・ツールの整備・普及	
		電気・蒸気使用許可願の電子化	完			ツール活用/ノウハウ/業務への適用事例等の展開・啓発	
		工事安全作業計画書の電子化	完		Step3(設備管理Gr)	設備保全システム一元化後を見据えたデータ管理高度化	
		作業員名簿の電子化	完			他拠点・他部署への横展開	保留

もっと未来の人のために

